

令和 6 年 1 月 29 日

ICT 推進課長 竹下正人

ICT 推進課 令和 5 年度報告

ICT 推進課の重点目標：ICT 機器による授業と業務の効率化・内容の充実・情報の共有

1. Classi 運用についての自己評価

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
2	・ ID/PW 管理（生徒・保護者・教員） ・ 生徒の学校生活・日常生活・生活環境などの情報の管理（成績・学校における生活状況・保健関係など） ・ 生徒・教員間、教員間、学校・保護者間の情報共有

ICT 推進課だけでなく多くの分掌が Classi をそれぞれの用途において活用している。Classi はその特徴をしっかり把握して上手に運用すれば大変便利なシステムである。Classi 自体も毎年進化しており、今後も有効な運用を目指したい。

2. 電子黒板・プロジェクターなど ICT 機器管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・ より効果的な ICT 機器管理・運用を目指す

各教室の電子黒板および移動式モニター・プロジェクターはおおむね良好に運用されている。

3. 教員用タブレットの運用について

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・より効率的なタブレットの運用を目指す

現在教員用端末として日常業務用の Windows タブレットと、さらにクラス担任には生徒と同様の端末である iPad が配布されている。それぞれの場面においておおむね良好な運用がなされているものと把握している。2025年に現在の Windows10 のサポートが終了するため、Windows11 への移行を検討する必要がある。また、2018年度に導入されたタブレットはすでに導入から5年が経過しており、バッテリー含めて少しずつ劣化が見られるようになっている。一般論として個別のタブレット端末の運用期間は5年が想定されているとのことである。使用不可となった端末が発生することにより教員用タブレットが不足して授業や業務に支障をきたすことがないように、今後小規模または大規模な教員用端末のリプレースを予定して計画的に実行していく必要がある。

4. 校内 Wi-Fi 運用

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
1	・より安定的で効率的な Wi-Fi の運用を目指す

本校の Wi-Fi は2018年度に整備されたが、整備当初よりも接続端末数が圧倒的に増えたために日常的にネットワーク不調が見られる。さらに、現在も原因は究明途中であるが、ただでさえ本校の Wi-Fi は容量が不足していたにもかかわらず年度の途中で大容量の通信を行うシステムが突然導入されたことにより、おなじ Wi-Fi 環境下にある電子黒板を使用した授業が突然遮断されるなどの障害が発生した。早急に Wi-Fi 環境を改善する必要がある。

5. 校内 Google Workspace for Education 運用・管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・アカウント管理・設定 ・Google 関連アプリの導入と活用

教員・生徒用アカウント発行・運用・管理を行っている。授業支援やその他さまざまなツールとしてすこしずつ利活用が浸透している。今後もさらなる運用の向上を目指したい。生徒用アカウントに学籍番号を使用し、パスワードを情報の授業用のものと共通化することにより運用が効率化された。

6. 生徒用タブレット端末 iPad 運用・管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・生徒用 iPad 導入・運用

今年度は全学年が iPad を持つこととなった完成の年度であった。生徒用 iPad が導入について、新入生保護者への周知、集金、端末配布、運用開始などおおむね良好であった。また、卒業に向けた 3 年生の iPad の運用体制移行もおおむね良好であった。導入当初は iPad の校内での活用率が低いことによるクレームも懸念されたが、杞憂であった。今の生徒にとって iPad を含めたタブレット端末は普通に普段から使う文房具などの一種と考えられており、教員が特に指示をしなくても各自で利用方法を考えて自分で使う道具となっているように見られる。ただ、今年度は昨年度以前に比べて iPad の破損が多くなってきた。これは制定品の一つとして生徒に持たせているキーボード付きケースのキーボードが重いため生徒がキーボードを外した状態で持ち運び、その途中で画面が破損していたためである。この点を鑑みて、来年度は制定品として新入生に持たせるものをキーボードなしのケースに変更した。また、クラスによって iPad の使用状況に隔たりがあり、授業で多く使っているクラスとあまり使っていないクラスの差がある。iPad 導入の意義を教員間にさらに浸透させる必要がある。今後も Google Workspace for Education Fundamental

および Microsoft Office A1 を活用してオンライン授業を含めて iPad をより効果的に運用したいと考えている。生徒が iPad を持っていることにより授業を含めて様々な活用方法が広がったため、それにあわせた授業デザイン・HR 活動など教員の意識の啓蒙が必要である。

7. 校内 Microsoft Office 365 A1 運用・管理

自己評価	自己点検・自己評価項目総括
3	・アカウント管理・設定

教員・生徒用アカウント発行・運用・管理を行っている。一部に PW を忘れてログインできなくなる生徒がいるなどあるが、今のところ Word や Power Point などを中心に大きな問題なく運用されている。